基本理念

人と人が互いに認め、支え合い、安心して安全に自分らしく暮らせる、つながりのあるまち「ふくしま」

【基本理念の考え方】 ● 人権尊重 ● 住民主体 ● 共生 ● 多様な主体の協働

区の状況・課題

◆ 状況

○ 人口・世帯

- ・長らく人口増加が続いている
- ・高層マンション居住者が増加

○ 高齢者

- ・高齢者人口が増加
- ・ひとり暮らしの高齢者が増加

○ 障がい者

- ・障がい者（児）サービス受給者の増加

○ こども

- ・出生率が高い

○ 生活困窮者

- ・相談件数が増加
- ・生活保護率（R6年3月）は24区で最も低い

◆ 課題

- ・ケース対応が複雑化、複合化し相談機関間の連携が必要
- ・マンション対策にはアウトリーチが重要
- ・高齢者、障がい者、子育て層においてそれぞれ孤立がみられる
- ・町会加入率が低下し、地域のつながりが希薄化
- ・地域の福祉活動を支える担い手が減少し、担い手の負担も増えているなか新たな担い手の確保が必要
- ・災害時にひとりで避難ができない要援護者への支援が必要

目標・取組の方向性

基本目標 1

「多様化する福祉ニーズ」を受け止め、適切に対応できる体制づくり

一体的に取り組む

基本目標 2

住民同士がお互いに気かけ、つながり、支え合うことができる地域づくり

1. 身近な場所での相談体制の連携強化

身近な相談窓口を知ってもらいそれぞれの連携を強化することで、住民の様々な生活課題の早期発見・早期対応に努め、適切な支援につないでいきます。

2. 高齢者支援体制の推進

専門職や地域が協働してネットワークを構築し高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう相談支援を行い、自分らしい暮らしを最後まで続けることができる体制整備を進めていきます。

3. 障がい者への相談支援体制の強化

障がい者基幹相談支援センターを中核に相談支援事業所等の関係機関が連携して障がい者に対しての相談支援等を進めていきます。

4. 子育ての相談支援体制の充実と連携強化

子育てに悩む保護者が利用しやすいよう、身近に相談できる場や親子交流できる場を充実させるとともに、学校、区役所、こども相談センター、地域、子ども食

堂などとの連携をさらに強化し、子育て家庭が孤立することなく地域全体で子育て世帯を支え、子どもたちが健やかに育つ取組みを進めます。

5. 複合的な課題等を抱えた人や世帯への相談支援体制の充実

相談者の属性・世帯・相談内容に関わらず、受け止めることができる相談支援体制を充実するため、関係機関相互の理解・知識を深め連携強化を図ります。

6. 虐待防止と権利擁護の取組み

地域や関係機関と連携して虐待の早期発見・対応等を行うとともに、虐待防止の啓発、成年後見制度の利用促進など権利擁護に取り組みます。

7. 情報提供と発信の充実

福祉制度・サービスについて、誰でも理解しやすい情報発信や相談窓口に迷わないよう相談窓口の丁寧な周知を進めます。

1. 地域でのつながりづくりと住民の参加促進

住民同士の交流の場を支援することで、地域活動への住民参加の促進や孤立化の防止、新たな担い手の発掘へつなげていきます。

2. 地域における見守り活動の充実

地域における見守りや助け合いの支援や多様な主体との連携・協働により、つながり支え合う地域づくりに努めます。

3. (仮称) 障がいや認知症の人と共生する地域づくり

障がいや認知症の人に関する正しい理解を深め、基本的人権を尊重し、孤立することなく尊厳をもって社会参加し続けられる共生する地域づくりを進めていきます。

4. 災害時等における要援護者への支援

災害時に備え、実効性のある要援護者の個別避難計画の作成等について、区役所と地域の自主防災組織等が連携・協力して進めるとともに、すべての住民が共助の必要性を理解し、地域とつながる取組みを進めます。

5. 地域福祉を支える人材づくり

各種研修会開催等に取り組むなど地域福祉活動の担い手づくりを進めます。

6. 福祉教育の推進

学校等と連携し助け合いや人とのつながりの大切さの学びを進め福祉意識の醸成を図ります。